

## 令和5年度事業計画

### 1 基本方針

コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員の皆様にはマスクの着用や3密の回避、行動自粛等により、地域での交流や社会貢献活動も停止状態にありました。

また、コロナウイルスの影響を受けた発注者からは、契約解除や就業時間の短縮等もあり、センター経営も大変厳しい時間を過ごしてきました。

このような中、昨年度は市営駐輪場へのエアコン設置による労働環境の改善が図られるとともに、発注者に配分金や事務手数料の上げを要請した結果、多くの協力が得られたことで、会員の収入拡大やセンターの経営改善に繋げることが出来ました。

今年度は、第4次基本計画の最終年度に当たり、大きな柱の会員拡大と就業先拡大に向け、女性会員の活躍の場の拡大や新規事業の開拓、経営の効率化やIT化等を進めるとともに、10月から適用されるインボイス制度による会員への影響を最小限に止めるため、柏市や民間発注者のご支援をいただきながら適切に対応してまいります。

### 2 事業計画

#### (1) センターの組織体制の強化

##### ① 総会出席率の向上

委任状及び議決権行使書の提出を含め、85%以上の出席率を目標とし、出席率向上のため、広報紙や各種会議等で参加を促すとともに、令和4年度総会の出欠席無回答者には、通知文の送付と電話連絡により参加を呼びかける。

##### ② 地域班活動のあり方の検討

ウィズコロナの新たな社会体制のもとで、書面や電話、メール等の様々な手段を模索しながら班活動の活性化を図る。

なお、政府のコロナ対応について改定等が行われた場合は、地域班活動の再開も視野に入れた検討を行い、地域班役員へ情報発信する。

##### ③ 地域班役員の活性化

地域班設置要綱に基づき、令和6年5月に大半の役員の任期

満了を迎えることから、満了時期の周知について、地域班地区長会議及び全体会議等を通じて円滑な役員交代に向けて準備を進める。

また、誰もが役員を担当しても運営出来るよう地域班活動マニュアルの活用を促し、地域班役員及び地域班活動全体の活性化を図る。

#### ④未就業相談の充実

毎月1回の未就業相談日と、地区別の出張未就業相談会を実施し、未就業会員の状況把握に努め、就業紹介に繋げていく。

#### ⑤職群班活動の推進

安全就業と会員相互の連携、情報の共有化及び事業拡大を図るため、職群班毎の定期的な会議や講習会、研修会等の自主的な活動を促進する。

また、近隣センター班の設立に向けた検討を行う。

#### 職群班会議

パソコン班6回、除草班4回、駐輪場班4回、植木班10回講習会及び研修会

除草班：刈払機講習会（1回）、駐輪場班：接遇研修会（1回）、福祉・家事援助サービス班：接遇研修会（2回）、植木班：剪定技能講習会（2回）

#### ⑥IT化の推進

「柏シルバーだより」のホームページによる閲覧を推奨し、郵送費低減を継続推進する。

また、「ゆずりは」についてもホームページによる閲覧を推奨し、配布方法の改善について検討を行う。

ZOOMを利用した会議については、専門部会での活用を推進する。

### （2）事務局体制の強化

#### ①事務局組織の強化と機能充実

新入職員のOJTを計画的に進めるとともに、総務企画課と業務課の業務量の変化に対し、より柔軟に対応できるよう職員の多能化を推進する。

#### ②他市センターの情報収集

東葛地区シルバー人材センター連絡会議や県内7市シルバー

人材センター意見交換会等に参加し、情報収集に努める。

また、先進的な取り組みを行っているシルバー人材センターへ専門部会と職員の視察研修を実施し、情報収集を行う。

### ③会員と役員・事務局職員の連携強化

専門部会や委員会、地域班等の活動を通じ、意見交換の場を設け、会員と役員及び事務局職員との意思統一を図り、連携強化に繋げる。

### ④専門部会の所管事項の整理及び再編

事業部会を廃止し、所管事項を他の専門部会へ移管することを検討し、整理を行う。

## (3) 会員の拡充と広報の充実

### ①会員の拡大

前年度末会員数の50名増を目標とし、毎月実施する入会説明会の回数を増やし、会員の拡大を図る。

また、会員不在及び会員数の少ないエリアへのポスティング活動を行うとともに、パレット柏で入会相談会を開催する。

更に、女性限定入会説明会を開催し、女性会員の拡大に努める。

### ②ホームページの掲載内容の充実

会員と発注者に有益な情報を提供するため、新しい情報が入り次第、ホームページの更新を行う。

また、潜在的な入会希望者の掘り起こしとして、より具体的で魅力ある掲載内容に見直す。

### ③広報DVDの制作

令和4年度に作成したDVDの改訂を検討し、入会説明会での活用を推進する。

### ④広報紙「ゆずりは」と「柏シルバーだより」の充実

広報紙「ゆずりは」は、センター事業を支える会員のための広報紙であることから、会員の交流の場としての役割を常に念頭に置いて、班活動のレポートや素敵な会員の紹介、センターの現況に関する情報等を適切に伝えるために、年4回の発行を行う。

広報紙「ゆずりは」発行の間隙を埋めるため、「柏シルバーだより」を年8回発行し、ホームページへ掲載して会員への情報提供頻度を高める。

#### ⑤ 研修計画の策定と研修メニューの開発

就業会員及び女性会員交流会等からの意見や、発注者からの声を参考に研修ニーズの把握に努め、研修内容を検討する。

### (4) 就業機会の確保・拡大

#### ① 新規就業先の拡大

新規顧客の訪問目標をジョブコーディネーター1人あたり月1社以上とし、新たな就業先の拡大を図る。

また、柏市や柏市生涯現役促進協議会と連携を図り、求人情報の収集、就労セミナーやミニ集会へ参加し、新たな職種の受注に努める。

更に、大手コンビニ店舗へのリーフレットの配架を行い、受注拡大に繋げる。

#### ② 家事援助サービス・介護事業の推進

家事援助及び介護事業の就業に対する関心を高めるため、就業情報を広報紙等で発信し、就業者の拡充を図る。

また、介護施設での就業者を対象とした交流会を開催し、事業推進の環境作りを図る。

#### ③ 請負・委任及び派遣事業の拡充

既存の契約先での就業拡充並びに新規契約の開拓に取り組むとともに、柏市、柏市生涯現役促進協議会と連携し、就業場所の拡大に努める。

#### ④ 独自事業の充実

ホームページを活用し、空き家管理とお墓の清掃事業について、ニーズの把握と受注獲得のためのPR活動を推進する。

シルバー学び隊事業は、既存事業と新規事業の展開に向けてサポートを行う。

#### ⑤ 新規事業の推進

柏市との連携を図り、振り込め詐欺撃退録音機の設置業務の就業拡大に努める。

#### ⑥ 顧客満足度の向上と就業先訪問

発注者へのアンケート調査を実施し、会員の就業状況把握と就業内容の改善に努め、顧客満足度の向上と信頼関係の確保に努める。

また、ジョブコーディネーターによる就業先の情報収集から、大口契約先の訪問リスト作成を行い、訪問時には就業者の増員や追加的ニーズ等の把握にも努める。

#### ⑦ 適正就業の確保

業務仕様書や適正就業の自主点検表を基に、ジョブコーディネーターによる就業先の情報収集を行い、適正な就業環境の確保を行う。

### (5) 安全管理の推進

#### ① 安全委員会の機能強化

安全委員会を年6回開催し、事故原因の検証や改善策を会員、発注者と共に検討を行い、ジョブコーディネーターに情報提供をする。

#### ② 安全パトロールの実施

安全委員会開催時に12か所(6回×2か所)の安全パトロールを実施し、就業場所の作業環境や作業実態を確認するとともに、必要な安全指導を行い事故防止に努める。

#### ③ 事故の削減

事故経験者を対象に安全研修を年4回実施し、会員の安全就業への意識向上に努める。

また、新入会員研修の中で、安全就業の周知徹底を図るとともに、就業途上の事故を削減するため、柏市や柏警察署と連携を図り、交通事故防止講座を実施する。

更に、事故の発生情報や講座等の開催について、広報紙「ゆずりは」や「柏シルバーだより」等で会員へ情報提供し、事故発生件数を、前年度比25%削減する。

#### ④ 健康診断書の提出

会員の健康で活力ある就業を継続していくため、年1回の健康診断受診と健康診断書(写)の提出を広報紙等で呼びかけ、就業会員の提出率100%を目指す。

### (6) 経営及び事業運営の基盤整備

#### ① 経営視点での事業運営

事業運営の安定化を図るため、受注拡大による事務費及び派遣手数料収入の安定的な確保に努めるとともに、就業内容に応じた配分金単価の適正化を行う。

## ②インボイス制度の導入・実施

10月からのインボイス制度導入により、センターは令和5年度に約600万円の納税額負担が生じ、令和6年度以降も納税額の増加が見込まれる。適切な対応を行うため、柏市や民間発注者に支援並びに協力を要請する。

## ③イベントの開催

新型コロナウイルス感染症の状況及びインボイス制度の導入に伴い、会員の安全確保と経費節減を図る必要性から、イベント開催について慎重な検討を行う。

## (7) 地域社会への貢献

### ①地域イベントへの積極的な参加

地域の夏祭りやボランティア活動等に積極的に参加し、センターのPR活動を行う。

### ②地域貢献

柏市、柏市生涯現役促進協議会、柏商工会議所等との連携を深め、セミナー等に積極的に参加し、地域社会への貢献に努める。

### ③会員と市民の交流推進

市民へ入会のための情報提供と入会相談、会員相互の懇談及び交流を図るため、シルバーサロンを4回開催する。

また、女性会員同士の情報交換や、繋がり強化と活躍の場を広げるため、女性会員交流会を4回開催する。